

参考資料：単純集計の結果

(1) 教員

教員用

岡山大学男女共同参画推進に関するアンケート調査

連絡先：岡山大学ダイバーシティ推進本部・男女共同参画室 電話 251-7011 (担当：松田・増田)
メール sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

記入上のお願ひ

- (1) ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号に○をつけるか、数字を直接記入してください。
(2) 「その他」の回答では、[] の中にその内容を具体的に記入ください。

ご回答いただきましたアンケート用紙は、同封の返信封筒に入れた上で封をし、無記名のまま、
11月18日(水)までに、部局に設置した回収箱に入れるか、学内便でご返送ください。

Q 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性 75.4% 2. 女性 24.6% 合計N=765

Q 2 あなたは2009年11月1日現在で何歳ですか。回答欄に直接数字を記入してください。 ____ 歳

20代以下 13.2% 30代 31.4% 40代 26.2% 50代 17.6% 60代 11.7% 合計N=768

Q 3 あなたは岡山大学に専任教員として赴任してから、何年になりますか。(○は1つ)

1. 1-4年 43.9% 2. 5-9年 17.8% 3. 10-19年 22.4% 4. 20-29年 10.8% 5. 30年以上 5.1%
合計N=765

Q 4 あなたの現在の職位は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 教授 26.9% 2. 准教授 21.2% 3. 専任講師 4.9% 4. 助教 25.9% 5. 助手・医員 21.2%
合計N=761

Q 5 あなたの専門分野は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 人文社会科学 13.9% 2. 自然科学 83.3% 3. その他 2.8% [] 合計N=786

Q 6 あなたは、これまで次の採用・昇任を経験しましたか。経験した方は、そのときの年齢を教えてください。(岡山大学以外での経験も含みます)(○は1つ以上)

1. 助手・助教 32.8% ____ 歳 2. 専任講師 13.0% ____ 歳 3. 助教授・准教授 21.5% ____ 歳
4. 教授 14.9% ____ 歳 5. 経験がない 17.9% 合計N=1258

Q 7 女子学生の比率は、文系では比較的多く、理系では比較的少ない傾向にあります。その理由として、以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(6)それぞれに1つずつ)

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. 全くあてはまらない	
(1) 女性は文系、男性は理系という社会通念のため	7.5%	32.2%	27.2%	22.1%	10.9%	合計N=797
(2) 高校で女性には文系、男性には理系の進路を勧めるため	3.8%	15.9%	32.9%	29.1%	18.2%	合計N=790
(3) 女子生徒は文系の、男子生徒は理系の職業に就きたいという志向があるため	6.3%	40.0%	30.0%	15.5%	8.2%	合計N=793
(4) 親が女性には文系、男性には理系の進路を期待するため	3.4%	22.0%	37.2%	24.0%	13.4%	合計N=791
(5) 女性は文系科目が得意で、男性は理数系科目が得意であるため	4.9%	30.5%	30.7%	20.4%	13.5%	合計N=794
(6) ロールモデルとなるような理系の女性研究者・教員が少ないため	13.1%	38.8%	25.6%	15.8%	6.7%	合計N=793

Q8 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(4)それぞれに1つずつ)

	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	
(1) 家族を(経済的に)養うのは男性の役割だ	14.8%	48.8%	15.5%	20.9%	合計N=791
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	12.6%	34.1%	26.8%	26.5%	合計N=785
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	3.4%	24.3%	31.6%	40.7%	合計N=787
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児の両立ができたほうがよい	46.5%	37.3%	12.4%	3.8%	合計N=793

Q9 もし、あなたに、今、1日3時間の自由な時間ができた場合、次のうちどの活動に使いたいですか。(○は2つまで)

1. 学(院)内業務 1.5% 2. 教育業務 1.1% 3. 研究 24.5% 4. 休憩・睡眠 17.2% 5. 家族と一緒に過ごす 21.8%
 6. 家事・育児・介護 3.5% 7. 趣味・余暇活動 29.5% 8. その他 0.9% 具体的に: []

合計N=1199

Q10 あなたは、1週間に平均何時間くらい仕事(教育・研究・学内行政業務を含む)に費やしていますか。自宅での仕事時間も含めて教えてください。(○は1つ)

1. 38.75時間以下 5.3% 2. 38.75時間以上～50時間未満 18.9% 3. 50時間以上60時間未満 30.5%
 4. 60時間以上70時間未満 22.0% 5. 70時間以上80時間未満 23.3%

合計N=787

Q11 現在、岡山大学の女性教員の比率は13.8%(専任教員・2009年度)であり、女子学生の比率38.1%(2009年度)と比べて少ない状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(7)それぞれに1つずつ)

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. 全くあてはまらない	
(1) 採用する側に男性を優先する意識がある	7.6%	28.2%	32.6%	19.6%	12.1%	合計N=792
(2) 女性自身の能力が不足している	1.6%	9.3%	32.6%	28.8%	27.7%	合計N=792
(3) 女性自身の意欲が不足している	5.2%	25.2%	30.0%	22.0%	17.7%	合計N=791
(4) 女性にとって育児期間後の復帰が困難である	19.0%	44.9%	20.9%	9.8%	5.3%	合計N=788
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い	7.8%	43.5%	25.0%	14.9%	8.8%	合計N=784
(6) 女性が専攻する分野に偏りがある	9.3%	38.6%	31.7%	13.6%	6.8%	合計N=785
(7) 応募者の女性比率そのものが低い	25.1%	42.8%	22.8%	5.3%	3.9%	合計N=788

(1)～(7)以外に考えられる理由がありましたら [] 内に具体的に記入してください。

[]

Q12 岡山大学に男女共同参画室が設置されていることをあなたはご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っていた 57.2% 2. 知らなかった 42.8% 合計N=792

Q13 岡山大学では、2009年度採択の科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」において「10年後に女性研究者の比率を20%にする」という数値目標を掲げて事業に取り組んでいます。あなたはこのような取り組みについてどう思いますか。(○は1つ)

* この事業のくわしい内容については、封筒の裏面をご覧ください。

1. ぜひともこのような取り組みは必要だ 28.2% 2. どちらかといえばこのような取り組みは必要だ 34.5%
 3. どちらともいえない 21.7% 4. このような取り組みはあまり必要ではない 10.5%
 5. このような取り組みは全く必要ではない 5.2% 合計N=774

Q14 あなたは岡山大学の現在の所属部局において、男性と女性の待遇のあり方は、次のうちどれに近いと思いますか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(3)それぞれに1つずつ)

	1. 男性が有利である	2. 男性がやや有利である	3. 男性・女性にとくに差はない	4. 女性がやや有利である	5. 女性が有利である	6. わからない	
(1) 雇用・労働条件	7.1%	13.6%	66.0%	2.5%	1.5%	9.2%	合計N=792
(2) 職務の分担	4.9%	10.3%	65.1%	6.6%	2.8%	10.4%	合計N=790
(3) 採用・昇任	7.0%	18.1%	61.4%	1.6%	0.3%	11.6%	合計N=791

Q15 一般的に、女性にとって大学での研究・教育職がより魅力的になり、また女性が大学での研究・教育を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(14)それぞれに1つずつ)

	1. とても有効	2. やや有効	3. どちらともいえない	4. あまり有効でない	5. 全く有効でない	
(1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	39.5%	40.2%	13.6%	4.2%	2.4%	合計N=784
(2) 学内保育所	70.2%	22.5%	5.7%	1.0%	0.6%	合計N=792
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	64.1%	27.2%	7.3%	0.8%	0.6%	合計N=791
(4) 学内学童保育所(長期休暇中のみ)	45.3%	35.4%	15.3%	2.3%	1.8%	合計N=786
(5) 学内学童保育所(常設)	58.3%	28.0%	10.6%	1.8%	1.3%	合計N=785
(6) 育児・介護費用の補助制度	39.7%	33.2%	21.1%	4.6%	1.4%	合計N=790
(7) 育児・介護休暇制度の充実	50.6%	33.5%	12.7%	2.3%	0.9%	合計N=793
(8) 育児・介護休暇後の復帰支援制度	52.1%	34.6%	11.5%	1.4%	0.4%	合計N=791
(9) 在宅勤務制度	27.7%	27.6%	32.1%	9.1%	3.6%	合計N=784
(10) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり	35.9%	33.1%	24.2%	5.2%	1.6%	合計N=789
(11) 女性教員の積極的採用制度	21.0%	26.0%	37.9%	8.6%	6.5%	合計N=789
(12) 業務量の軽減	17.1%	24.1%	37.5%	13.3%	8.0%	合計N=791
(13) 短時間勤務制度	21.3%	30.3%	31.2%	11.0%	6.1%	合計N=788
(14) 研究サポート制度	20.9%	28.8%	35.2%	9.2%	6.0%	合計N=786
(15) その他 [具体的に:]						

- Q16 あなた自身が岡山大学での研究・教育を継続する上で、Q15に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。(○は1つ)
1. 今、必要である 19.4% 2. 今は必要ではないが、将来必要になると思う 41.5% → Q17へ
 3. 今は必要ではないが、過去に必要としていた 11.9% 4. 過去も、今も、将来も必要ではない 27.2% 合計N=696

- Q17 【Q16で、1. または2. に○をつけた方にお尋ねします。】
 あなた自身が岡山大学で研究・教育を継続する上で、今、あるいは将来もっとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。(○は3つまで) 合計N=1325

(1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	5.7%
(2) 学内保育所	16.8%
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	11.3%
(4) 学内学童保育所(長期休暇中のみ)	2.5%
(5) 学内学童保育所(常設)	10.3%
(6) 育児・介護費用の補助制度	6.6%
(7) 育児・介護休暇制度の充実	10.7%
(8) 育児・介護休暇後の復帰支援制度	5.9%
(9) 在宅勤務制度	4.9%
(10) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり	4.3%
(11) 女性教員の積極的採用制度	1.7%
(12) 業務量の軽減	7.5%
(13) 短時間勤務制度	6.9%
(14) 研究サポート制度	4.8%
(15) その他 [具体的に:]]

*学童保育所は、放課後や長期休暇中、保護者に代わって保育を行う施設です。岡山大学では、長期休暇中のみの学内学童保育所「かいのき児童クラブ」を2009年度に開設しました。また、病気のため保育園などに通園できない子どもを預かる病児・病後児保育施設「ますかっど病児保育ルーム」も本年10月に開設したほか、鹿田キャンパス内の保育所「なかよし園」の受入れ対象者を全学教職員等に拡大します。

- Q18 【Q17で(14) 研究サポート制度を選んだ方にお尋ねします。】
 具体的にどのようなサポートを望みますか。

[]

Q19 あなたは、岡山大学で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか、いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(11)それぞれに1つずつ)

	1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. 全くそう思わない	
(1) 研究や実験などの拘束時間が長い	11.9%	18.4%	33.6%	24.5%	11.6%	合計N=748
(2) 研究のための時間が十分に確保できない	40.2%	30.8%	15.3%	9.8%	3.9%	合計N=769
(3) 教育のための時間が十分に確保できない	16.8%	32.3%	31.2%	14.3%	5.4%	合計N=762
(4) 体力的にきつい時がある	20.8%	36.8%	22.3%	15.1%	5.1%	合計N=764
(5) 研究室の雰囲気が男性または女性中心でなじめないことがある	2.0%	4.7%	30.9%	27.3%	35.1%	合計N=766
(6) 困ったときに気軽に相談できる同性が身近にいない	6.2%	13.0%	27.1%	30.9%	22.9%	合計N=764
(7) 学生との人間関係に悩んでいる	1.7%	6.7%	22.0%	35.2%	34.3%	合計N=758
(8) 教員間の人間関係に悩んでいる	6.2%	12.8%	24.6%	32.6%	23.7%	合計N=763
(9) 職員との人間関係に悩んでいる	2.9%	6.2%	25.1%	35.1%	30.7%	合計N=761
(10) 家族のための時間が十分に確保できない	20.8%	27.1%	25.4%	16.4%	10.4%	合計N=761
(11) 研究生活について家族や周囲の理解が少ない	2.4%	10.4%	26.2%	30.9%	30.1%	合計N=763
(12) その他 [具体的に:]						

最後に、もう一度あなた自身についてお尋ねします。

Q20 あなたの国籍は次のうち、どちらですか。(○は1つ) 1. 日本 96.5% 2. 日本以外 3.5% 合計N=781

Q21 あなたの雇用契約は次のうち、どちらですか。(○は1つ) 1. 任期なし 57.1% 2. 任期付き 42.9% 合計N=776

Q22 あなたの所属部局はどこですか。(○は1つ)
 1. 教育学研究科 7.4% 2. 社会文化科学研究科(文化科学研究科) 6.3% 3. 自然科学研究科 25.7% 4. 保健学研究科 3.9%
 5. 環境学研究科 4.2% 6. 医歯薬学総合研究科(医歯学総合研究科) 28.4% 7. 法務研究科 0.7%
 8. 岡山大学病院(三朝医療センター含む) 14.8% 9. 全学センター・その他 8.7% 合計N=768

Q23 あなたには、現在、配偶者がいますか。(婚姻届の有無は問いません)(○は1つ)
 1. 現在、配偶者がいる 70.5% 2. いない(死別または離別した) 3.8% 3. いない(結婚したことはない) 25.7%
 合計N=769

Q24 【Q23で1. に○をつけた方にお尋ねします。】
 配偶者の勤務状況について、次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)
 1. 無職 48.4% 2. パートタイム勤務 18.4% 3. フルタイム勤務 27.1% 4. 自営業 4.7% 5. その他 [] 1.5%
 合計N=550

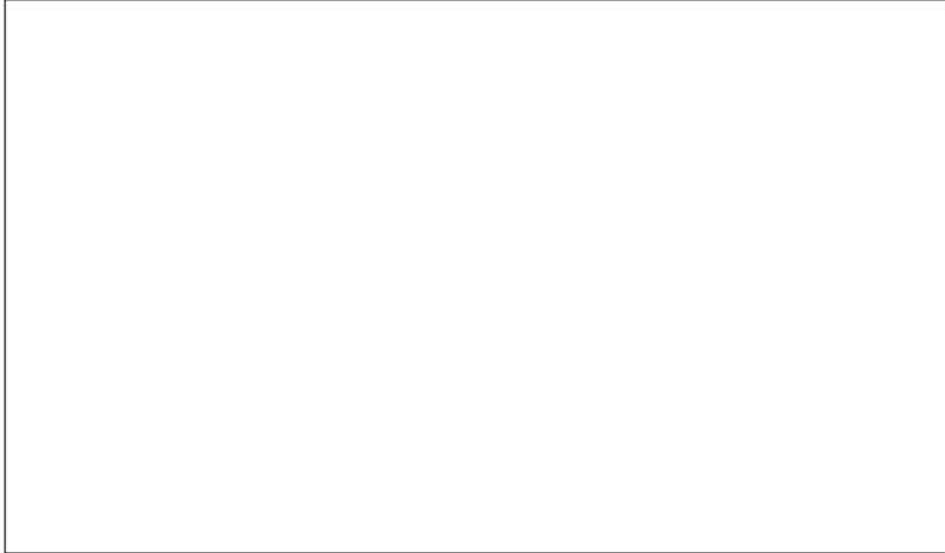
Q25 あなたにお子さんはいますか。(○は1つ) 1. いない 40.9% 2. いる 59.1% 合計N=746

Q26 【Q25で2. に○をつけた方にお尋ねします。】
 次の年齢区分にあてはまるお子さんの人数を、すべてご記入ください。
 1. 1歳未満 4.4% ()人 2. 1～3歳未満 7.0% ()人 3. 3～6歳 12.5%(未就学) ()人
 4. 小学生 16.2% ()人 5. 中学生 8.2% ()人 6. 高校生 7.2% ()人
 7. 大学生または社会人 44.6% ()人 合計N=873

Q27 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。次のうち、あてはまるものに○をつけてください。
(○は1つ以上)

1. 介護が必要な近親者と同居している 3.8% 2. 介護が必要な近親者と別居している 24.0%
3. 介護が必要な近親者はいない 72.1% 合計N=757

Q28 岡山大学における男女共同参画の推進に関して、あなたが必要だと思うこと、あるいは問題と考えることは何ですか。ご意見を自由にお書きください。



(2) 職員

職員用

岡山大学男女共同参画推進に関するアンケート調査

連絡先：岡山大学ダイバーシティ推進本部・男女共同参画室 電話 251-7011 (担当：松田・増田)
 メール sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

記入上のお願い

- (1) ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号に○をつけるか、数字を直接記入してください。
- (2) 「その他」の回答では、[] の中にその内容を具体的にご記入ください。

ご回答いただきましたアンケート用紙は、同封の返信封筒に入れた上で封をし、無記名のまま、
11月18日(水)までに、部局に設置した回収箱に入れるか、学内便でご返送ください。

- Q 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)
 1. 男性 24.8% 2. 女性 75.2% 合計N=1582
- Q 2 あなたは2009年11月1日現在で何歳ですか。回答欄に直接数字を記入してください。 ____歳
 20代以下 31.2% 30代 31.0% 40代 22.4% 50代 13.4% 60代 2.1% 合計N=1512
- Q 3 あなたは職員として岡山大学(病院)に着任してから、何年になりますか。(○は1つ)
 1. 1-4年 45.5% 2. 5-9年 16.6% 3. 10-19年 17.0% 4. 20-29年 13.6% 5. 30年以上 7.3% 合計N=1569
- Q 4 あなたの職種は次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)
 1. 事務職員 41.6% 2. 技術職員 12.1% 3. 医療系職員 46.3% 合計N=1572
- Q 5 あなたは現在管理職ですか、そうではありませんか。(○は1つ)
 1. 管理職 7.9% 2. 管理職ではない 92.1% 合計N=1577
- Q 6 あなたは、これまで次の採用・昇進を経験しましたか。経験した方は、そのときの年齢を教えてください。(○は1つ以上)
 1. 課長級 4.9% ____歳 2. 部長級 0.9% ____歳 3. 経験がない 94.2% 合計N=1577
- Q 7 現在、岡山大学の女性管理職の比率は、2% (2009年度) と低い状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(5)それぞれに1つずつ)

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. 全くあてはまらない	
(1) 評価する側に男性を優先する意識がある	12.5%	32.3%	39.9%	11.0%	4.3%	合計N=1556
(2) 女性自身の能力が不足している	1.2%	9.9%	38.5%	30.9%	19.5%	合計N=1556
(3) 女性自身の意欲が不足している	4.0%	25.5%	38.1%	21.6%	10.8%	合計N=1552
(4) 女性にとって家庭責任との両立が困難である	30.7%	45.2%	19.2%	3.1%	1.9%	合計N=1559
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い	11.5%	41.6%	32.8%	10.9%	3.2%	合計N=1552

(1)～(5)以外に考えられる理由がありましたら [] 内に具体的に記入してください。

[]

Q 8 岡山大学に男女共同参画室が設置されていることをあなたはご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っていた 41.8% 2. 知らなかった 58.2% 合計N=1574

Q 9 あなたは、大学内での男女共同参画を進める取り組みについてどう思いますか。(○は1つ)

1. ぜひともこのような取り組みは必要だ 30.8% 2. どちらかといえばこのような取り組みは必要だ 47.1%
3. どちらともいえない 18.9% 4. このような取り組みはあまり必要ではない 2.6%
5. このような取り組みは全く必要ではない 0.6% 合計N=1547

Q10 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(4)それぞれに1つずつ)

	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	
(1) 家族を(経済的に)養うのは男性の役割だ	7.6%	51.6%	21.0%	19.8%	合計N=1567
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	12.0%	38.1%	28.6%	21.2%	合計N=1565
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	1.7%	17.6%	36.7%	44.0%	合計N=1561
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児の両立ができたほうがよい	56.5%	35.1%	6.5%	1.9%	合計N=1565

Q11 あなたの現在の職場では、男女で担当する業務について、差別的な取り扱いがあると思いますか。(○は1つ)

1. 顕著にある 1.8% 2. 少しある 9.7% →Q12へ
3. どちらともいえない 30.5% 4. ほとんどない 37.0% 5. 全くない 21.0% →Q13へ
合計N=1550

Q12 【Q11で1. または2. に○をつけた方にお尋ねします。】

よろしければ、差別的取り扱いの内容を具体的に記入してください。

[]

Q13 あなたは、岡山大学で女性(または男性)であるということを理由に、昇任や昇給で不利な取り扱いを受けたことがありますか。(○は1つ)

1. かなりある 0.7% 2. 少しある 3.1% 3. まったくない 44.6% 4. 昇任や昇給を経験していないため、該当しない 51.6%
合計N=1530

Q14 あなたは、今後どこまで昇任したいですか。(○は1つ)

1. 課長級 10.7% 2. 部長級 4.2% 3. 役員 6.3% 4. 今以上の昇任を望んでいない 78.7%
合計N=1415

Q15 次の事項について、あなたは現在、問題を感じていますか、いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(6)それぞれに1つずつ)

	1. おおいに問題を感じている	2. やや問題を感じている	3. あまり問題を感じていない	4. 全く問題を感じていない	
(1) 職場の物理的環境(設備、スペースなど)	20.7%	33.4%	36.3%	9.6%	合計N=1559
(2) 給与	23.3%	42.5%	28.9%	5.2%	合計N=1559
(3) 休日・休暇制度	12.5%	25.4%	45.5%	16.6%	合計N=1558
(4) 福利厚生	10.8%	25.7%	52.2%	11.4%	合計N=1559
(5) 仕事と家庭生活の両立	14.3%	32.2%	40.4%	13.1%	合計N=1557
(6) 仕事を離れた自由時間の確保	13.9%	31.5%	40.3%	14.2%	合計N=1560

Q16 一般的に、女性にとって大学での職務がより魅力的になり、また女性が大学での職務を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(13)それぞれに1つずつ)

	1. とても有効	2. やや有効	3. どちらともいえない	4. あまり有効でない	5. 全く有効でない	
(1) 育児・介護と職務を両立するための相談窓口	41.7%	39.6%	14.3%	4.1%	0.4%	合計N=1526
(2) 学内保育所	69.6%	23.5%	5.8%	1.0%	0.1%	合計N=1547
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	70.1%	22.4%	6.5%	0.8%	0.2%	合計N=1546
(4) 学内学童保育所 (長期休暇中のみ)	51.8%	30.8%	14.1%	3.1%	0.3%	合計N=1540
(5) 学内学童保育所 (常設)	57.1%	26.9%	13.0%	2.6%	0.5%	合計N=1544
(6) 育児・介護費用の補助制度	54.4%	30.8%	12.5%	1.8%	0.5%	合計N=1538
(7) 育児・介護休暇制度の充実	63.5%	28.3%	7.2%	0.8%	0.1%	合計N=1546
(8) 育児・介護休暇後の復帰支援制度	63.9%	28.0%	7.4%	0.6%	0.1%	合計N=1542
(9) 在宅勤務制度	29.1%	28.1%	32.2%	7.6%	3.1%	合計N=1536
(10) セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	47.6%	34.5%	15.6%	1.8%	0.4%	合計N=1543
(11) 女性職員の積極的採用・登用制度	32.7%	34.1%	29.1%	3.1%	1.0%	合計N=1541
(12) 業務量の軽減	35.0%	29.0%	28.5%	5.6%	1.9%	合計N=1544
(13) 短時間勤務制度	41.9%	33.9%	19.8%	3.7%	0.7%	合計N=1530
(14) その他 [具体的に:]						

Q17 あなた自身が岡山大学での職務を継続する上で、Q16に挙げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。(○は1つ)

1. 今、必要である 19.4% 2. 今は必要ではないが、将来必要になると思う 58.9% → Q18へ
 3. 今は必要ではないが、過去に必要としていた 11.6% 4. 過去も、今も、将来も必要ではない 10.2% 合計N=1445

Q18 【Q17で、1. または2. に○をつけた方にお尋ねします。】

あなた自身が大学で職務を継続する上で、今、あるいは将来もっとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。(○は3つまで)

合計N=3312

(1) 育児・介護と研究を両立するための相談窓口	4.7%
(2) 学内保育所	11.4%
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	9.9%
(4) 学内学童保育所 (長期休暇中のみ)	2.8%
(5) 学内学童保育所 (常設)	7.0%
(6) 育児・介護費用の補助制度	10.0%
(7) 育児・介護休暇(休学)制度	13.6%
(8) 育児・介護休暇(休学)後の復帰支援制度	8.9%
(9) 在宅勤務制度	3.0%
(10) セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	3.9%
(11) 女性職員の積極的採用・登用制度	2.8%
(12) 業務量の軽減	10.3%
(13) 短時間勤務制度	11.7%
(14) その他 [具体的に:]	

*学童保育所は、放課後や長期休暇中、保護者に代わって保育を行う施設です。岡山大学では、長期休暇中のみの学内学童保育所「かいのき児童クラブ」を2009年度に開設しました。また、病気のため保育園などに通園できない子どもを預かる病児・病後児保育施設「ますかっど病児保育ルーム」も本年10月に開設したほか、鹿田キャンパス内の保育所「なかよし園」の受入れ対象者を全学教職員等に拡大します。

最後に、もう一度あなた自身についてお尋ねします。

Q19 あなたの勤務形態は次のうち、どちらですか。(○は1つ) 1. 常勤 71.7% 2. 非常勤 28.3% 合計N=1560

Q20 あなたには、現在、配偶者がいますか。(婚姻届の有無は問いません)(○は1つ)
1. 現在、配偶者がいる 49.6% 2. いない(死別または離別した) 6.0% 3. いない(結婚したことはない) 44.4%
合計N=1539

Q21 【Q20で1. に○をつけた方にお尋ねします。】
配偶者の勤務状況について、次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)
1. 無職 13.7% 2. パートタイム勤務 14.2% 3. フルタイム勤務 65.0% 4. 自営業 5.1% 5. その他 [] 1.9%

Q22 あなたにお子さんはいますか。(○は1つ) 1. いない 56.1% 2. いる 43.9% 合計N=1463

Q23 【Q22で2. に○をつけた方にお尋ねします。】
次の年齢区分にあてはまるお子さんの人数を、すべてご記入ください。
1. 1歳未満 1.4% ()人 2. 1～3歳未満 6.7% ()人 3. 3～6歳 12.6% (未就学) ()人
4. 小学生 20.1% ()人 5. 中学生 10.5% ()人 6. 高校生 9.7% ()人
7. 大学生または社会人 39.1% ()人 合計N=1272

Q24 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。次のうち、あてはまるものに○をつけてください。
(○は1つ以上)
1. 介護が必要な近親者と同居している 6.3% 2. 介護が必要な近親者と別居している 19.9%
3. 介護が必要な近親者はいない 73.8% 合計N=1518

Q25 岡山大学における男女共同参画の推進に関して、あなたが必要だと思うこと、あるいは問題と考えることは何ですか。ご意見を自由にお書きください。

(3) 大学院生等

大学院生用

岡山大学男女共同参画推進に関するアンケート調査

連絡先：岡山大学ダイバーシティ推進本部・男女共同参画室 電話 251-7011 (担当：松田・増田)
 メール sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

記入上のお願

- (1) ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号に○をつけるか、数字を直接記入してください。
 (2) 「その他」の回答では、[]の中にその内容を具体的にご記入ください。

ご回答いただきましたアンケート用紙は、同封の返信封筒に入れて上で封をし、無記名のまま、
 11月18日(水)までに、部局に設置した回収箱に入れるか、学内便でご返送ください。

- Q1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)
 1. 男性 68.5% 2. 女性 31.5% 合計N=1117
- Q2 あなたは2009年11月1日現在で何歳ですか。回答欄に直接数字を記入してください。 _____ 歳
 20代前半以下 57.1% 20代後半 23.7% 30代 14.2% 40代以上 5.0% 合計N=1099
- Q3 あなたの所属する大学院はどこですか。(○は1つ)
 1. 教育学研究科 6.2% 2. 社会文化科学研究科 (文化科学研究科) 7.7% 3. 自然科学研究科 45.1%
 4. 保健学研究科 4.2% 5. 環境学研究科 11.1% 6. 医歯薬学総合研究科 (医歯学総合研究科) 18.5% 7. 法務研究科 7.2%
 合計N=1121
- Q4 あなたの専門分野は、次のうちどれですか。(○は1つ)
 1. 人文社会科学系 20.0% 2. 自然科学系 79.2% 3. その他 0.8% []
 合計N=1117
- Q5 あなたは留学生ですか。(○は1つ)
 1. いいえ 88.7% 2. はい 11.3%
 合計N=1120
- Q6 あなたは学部卒業後(博士後期課程の方は博士前期課程修了後も含む)に社会人経験(勤務経験)がありますか？(○は1つ)
 1. ない 76.3% 2. ある 23.7%
 合計N=1107
- Q7 あなたの所属する課程は次のうちどれですか。(○は1つ)
 1. 博士前期課程 74.4% _____ → Q8へ
 2. 博士後期課程 21.6% 3. 研究生 3.6% 4. ポスドク 0.4% _____ → Q11へ
 合計N=1052
- Q8 【以下Q10まで、現在博士前期課程(修士)在学中の方のみお答えください】
 現在あなたが博士前期課程修了後に一番希望している進路を教えてください。(○は1つ)
 1. 大学等での研究職 2.4% 2. 企業等での研究職 40.5%
 2. 非研究職(公務員・企業を含む) 33.8% 3. 小・中・高・専門学校教員 6.7%] _____ → Q10へ
 4. 博士後期課程への進学 9.5% _____ → Q9へ
 5. その他[具体的に: 7.1%]
 合計N=776
- Q9 【Q8で4.に○をつけた方にお尋ねします】
 博士後期課程への進学を希望する理由として次の事柄はどの程度あてはまりますか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)~(7)それぞれに1つずつ)

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. 全くあてはまらない	
(1) 将来大学教員になりたいから	40.8%	21.1%	19.7%	12.7%	5.6%	合計N=71
(2) 将来研究職(公務員・企業等)につきたいから	30.0%	32.9%	11.4%	12.9%	12.9%	合計N=70
(3) 自分の専門性を高めたいから	56.3%	33.8%	5.6%	2.8%	1.4%	合計N=71
(4) 大学院では性別に関係なく能力発揮ができそうだから	7.1%	8.6%	40.0%	14.3%	30.0%	合計N=70
(5) 研究を続けたいから	49.3%	35.2%	7.0%	7.0%	1.4%	合計N=71
(6) 大学院の生活が自分に向いていると思うから	21.1%	25.4%	9.9%	9.9%	4.2%	合計N=71
(7) 修士号取得だけでは希望する職がないから	7.0%	14.1%	16.9%	16.9%	33.8%	合計N=71

Q10 【Q8で4. 以外に○をつけた方にお尋ねします】

博士後期課程への進学を希望しない理由として、次の事柄はどの程度あてはまりますか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(7)それぞれに1つずつ)

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. 全くあてはまらない	
(1) 経済的理由	27.6%	30.4%	10.5%	13.5%	18.0%	合計N=684
(2) 進学しても職の保障がないから	38.4%	31.3%	12.7%	7.9%	9.7%	合計N=683
(3) 研究に向いていないから	17.4%	25.1%	29.9%	17.9%	9.7%	合計N=672
(4) 女性(または男性)であるため、大学院では能力が発揮できそうにないから	1.3%	4.5%	18.3%	18.9%	57.0%	合計N=683
(5) 長く大学院にいると人生設計に支障が出るから	20.3%	37.7%	17.3%	11.7%	13.0%	合計N=684
(6) 他に就きたい職があるから	36.8%	28.8%	19.1%	8.6%	6.7%	合計N=685
(7) 他に魅力的な進路(就職・進学以外)があるから	20.9%	18.9%	22.1%	12.0%	26.2%	合計N=684

Q11 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(4)それぞれに1つずつ)

	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	
(1) 家族を(経済的に)養うのは男性の役割だ	22.6%	47.0%	14.4%	16.0%	合計N=1088
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	12.3%	33.5%	30.3%	23.9%	合計N=1089
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	4.7%	23.0%	32.4%	39.9%	合計N=1089
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児の両立ができたほうがよい	58.6%	32.1%	6.4%	2.9%	合計N=1095

Q12 女子学生の比率は、文系では比較的多く、理系では比較的少ない傾向にあります。その理由として、以下の事柄はどの程度あてはまると思われますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(5)それぞれに1つずつ)

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. 全くあてはまらない	
(1) 女性は文系、男性は理系という社会通念のため	7.2%	29.3%	22.2%	22.2%	19.1%	合計N=1097
(2) 高校で女性には文系、男性には理系の進路を勧めるため	3.1%	11.6%	22.5%	30.4%	32.4%	合計N=1095
(3) 親が女性には文系、男性には理系の進路を期待するため	1.6%	11.7%	24.2%	30.6%	31.9%	合計N=1096
(4) 女性は文系科目が得意で、男性は理数系科目が得意であるため	11.4%	36.6%	18.5%	15.6%	17.9%	合計N=1103
(5) ロールモデルとなるような理系の女性研究者・教員が少ないため	12.1%	38.6%	22.4%	14.1%	12.8%	合計N=1095

(1)～(5)以外に考えられる理由がありましたら [] 内に具体的に記入してください。

[]

Q13 岡山大学では、2009年度採択の科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」において「10年後に女性研究者の比率を20%にする」という数値目標を掲げて事業に取り組んでいます。あなたはこのような取り組みについてどう思いますか。(○は1つ)

* この事業のくわしい内容については、封筒の裏面をご覧ください。

1. ぜひとこのような取り組みは必要だ 26.1% 2. どちらかといえばこのような取り組みは必要だ 31.4%
 3. どちらともいえない 25.0% 4. このよう取り組みはあまり必要ではない 10.8%
 5. このよう取り組みは全く必要ではない 6.7%

合計N=1088

Q14 一般的に、女性にとって大学での研究職がより魅力的になり、また女性が大学での研究を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか、思いませんか。それぞれの回答欄の該当する番号に○をつけてください。(○は(1)～(14)それぞれに1つずつ)

	1. とても有効	2. やや有効	3. どちらともいえない	4. あまり有効でない	5. 全く有効でない	
(1) 育児・介護と研究を両立するための相談窓口	46.0%	37.5%	10.9%	3.9%	1.7%	合計N=1066
(2) 学内保育所	62.0%	24.1%	8.9%	3.8%	1.1%	合計N=1066
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	54.0%	32.0%	10.6%	2.5%	0.9%	合計N=1059
(4) 学内学童保育所(長期休暇中のみ)	36.2%	35.6%	20.5%	5.9%	1.8%	合計N=1060
(5) 学内学童保育所(常設)	48.6%	29.3%	15.9%	4.3%	1.9%	合計N=1057
(6) 育児・介護費用の補助制度	47.7%	33.0%	13.3%	3.8%	2.2%	合計N=1057
(7) 育児・介護休暇(休学)制度の充実	57.7%	29.5%	9.5%	2.5%	0.9%	合計N=1058
(8) 育児・介護休暇(休学)後の復帰支援制度	60.9%	26.4%	9.6%	2.1%	1.0%	合計N=1054
(9) 在宅勤務制度	29.2%	29.4%	29.4%	9.2%	2.8%	合計N=1054
(10) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり	45.7%	30.7%	18.4%	3.7%	1.5%	合計N=1059
(11) 女性研究者の積極的採用制度	38.1%	24.6%	23.2%	8.4%	5.7%	合計N=1065
(12) 業務量の軽減	20.4%	20.4%	34.5%	15.4%	9.4%	合計N=1061
(13) 短時間勤務制度	23.8%	32.4%	26.3%	11.3%	6.2%	合計N=1062
(14) 研究サポート制度	27.1%	29.2%	30.9%	7.2%	5.5%	合計N=1050
(15) その他 [具体的に:]						

Q15 あなた自身が岡山大学での研究を継続する上で、Q14に挙げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。(○は一つ)

1. 今、必要である 12.3% 2. 今は必要ではないが、将来必要になると思う 45.5% → Q16へ
 3. 今は必要ではないが、過去に必要としていた 2.3% 4. 過去も、今も、将来も必要ではない 40.0%
 合計N=1003

Q16 【Q15で、1. または2. に○をつけた方のみお答えください。】

あなた自身が大学で研究を継続する上で、今、あるいは将来もっとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。(○は3つまで)

	合計N=1741
(1) 育児・介護と研究を両立するための相談窓口	7.5%
(2) 学内保育所	16.3%
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	7.6%
(4) 学内学童保育所(長期休暇中のみ)	1.3%
(5) 学内学童保育所(常設)	9.8%
(6) 育児・介護費用の補助制度	8.0%
(7) 育児・介護休暇(休学)制度の充実	10.9%
(8) 育児・介護休暇(休学)後の復帰支援制度	10.6%
(9) 在宅勤務制度	3.6%
(10) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントに関する相談窓口	4.1%
(11) 女性研究者の積極的採用制度	5.7%
(12) 業務量の軽減	3.8%
(13) 短時間勤務制度	6.1%
(14) 研究サポート制度	4.7%

*学童保育所は、放課後や長期休暇中、保護者に代わって保育を行う施設です。岡山大学では、長期休暇中のみの学内学童保育所「かいのき児童クラブ」を2009年度に開設しました。また、病気のため保育園などに通園できない子どもを預かる病児・病後児保育施設「ますかつと病児保育ルーム」も本年10月に開設したほか、鹿田キャンパス内の保育所「なかよし園」の受入れ対象者を全学教職員等に拡大します。

Q17 【Q16で(14)研究サポート体制を選んだ方にお尋ねします。】

具体的にどのようなサポートを望みますか。

[]

